



発行所
株式会社 日本テレソフト
〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-8-1
tel.03-3264-0800



新型マルチ ADF 誕生



新型 マルチ ADF。単票用紙専用で、取り扱いが簡易。発展途上国での活用が期待される。

単票用紙が使える、多様な用途に対応

人気の点字プリンター「マルチ」に単票用紙が使用できる ADF (自動紙送り機能) タイプが新登場しました。A4 サイズの普通用紙に対応し、専用の穴あきの点字用紙でなくても使えます。点字と墨字の同時印刷、そして静かな印刷はそのままです。ラックには80枚までの用紙を入れることができますので、連続しての印刷が簡易にできます。

また、あらかじめ、印刷済の単票用紙の上

プリンターです。
墨字もひらがな・カタカナは漢字かな混じり文書も印刷できますので、用途によって形態を変えることができます。

点字通帳の導入、金融機関で進む

障害者差別解消法の施行に伴い、金融庁は地銀、信用金庫なども含む全金融機関に預金内容などを点字で知らせる「点字明細サービス(点字通帳)」の実施を指導しています。これらを受けて都銀を含め点字システムの導入が進んでいます。銀行系では取引内容(振込、引き落とし、ATMの使用)などの詳細を1月単位でまとめ、利用申請のあった人に1月1日程度の割で発行しています。

点字印刷していただきます。1つはホストコンピュータから点字印刷を申し出た利用者のデータを自動的に引き出し、点字変換ソフトなどを利用して、点字プリンターから自動印刷するソリューション型で、ほとんどが自動作業となり、人手を介しません。もう一つは、利用者のデータを個別に出して、点字ソフトにデータを入力して点字印刷する方法です。人手はかかりますが、パソコンソフトで専門知識がなくても、ストレスなく印刷ができます。

また発展途上国では、点字専用用紙の入手が困難であったり、価格が高いケースもありますが、A4サイズの単票用紙はどこのも入手できるためにこうした問題を解決し、普及を後押しすると期待します。マルチのほか、点字プリンター「BASIC」(点字印刷のみ)にも ADF が装着できます。

ほか通常の墨字文字が同時印刷されますから氏名、金額などもチェックができます。点字の知識がなくても安心して点字製作ができます。当社ではソリューション型のソフト製作も自社で行い、金融機関の個別ニーズに合わせて納入しています。



多彩、多様な広がり 点字印刷

学校、病院、
司法関係でも

点字と墨字の同時印刷機能を活かして利用が広がっています。

病院では処方箋、薬の説明書の点字化、行政機関では各種広報資料、行政のお知らせ、議会報告書など、税務関係では各種税金の通知のお知らせ、公共系では電気、ガス、水道、電話などの請求、領収書などの発行もあります。

学校関係では、教師が墨字文字、生徒が点字という形で情報を共有することができるために教科書、補助教材の作成などに活躍しています。法律関係でも裁判所の記録の点字化や法律の解説書などの点字印刷が行われています。

点字墨字を同時に単票印刷

ドッグ・マルチ ADF

DOG-Multi ADF

従来の点字プリンターのように、連続用紙ではなく単票タイプの用紙を使用できるようになりました。用紙は、厚さ110~130kgの上質紙であれば問題なく印刷できます。

より速く、
より使いやすく



正常に起動しました。
印刷が可能です!

音声ガイド機能搭載

株式会社 日本テレソフト
TEL.(03)-3264-0800
FAX.(03)-3264-0880

海外でも大活躍



発行所
株式会社 日本テレソフト
〒102-0083 東京都千代田区麹町1-8-1
tel.03-3264-0800



当社の点字プリンターは、国内ではDOG(ドッグ)盲導犬の意味を込めて)シリーズとして、海外ではGEMINI(点字と墨字の同時印刷で2つを意味するふたご座)シリーズで商品化しています。GEMINIは欧米サイズの点字文字になっています。点字と墨字の同時印刷、そして日本語も含まれたアジア系言語など世界100カ国以上の言語・地域語に対応する点字プリンターは世界でも当社製マルチだけです。そのユニークな機能が評価されて、欧米ほか中南米、アフリカ、東南アジアなど30カ国以上に輸出され、増え続けています。最近では中南米のニカラグア、ドミニカ共和国、グレナダで活躍、東南アジアではベトナム、中国、韓国、モンゴルで数多く利用されています。



2018年8月にモンゴルで開催されたWBU-AP(世界盲人協会アジア太平洋)の展示会で、点字関係機器をアジアの盲人協会に紹介した。



ハノイ・視覚障害者リハビリセンターのICT教室。最先端の機材が並ぶ。



ベトナムではICT教育プログラムを実施
JICAの中小企業支援事業により、日本テレソフトはベトナムで視覚障害者がパソコン技能を習得するための教育プログラムを2017年から2年がかりで実施しています。ハノイの視覚障害者リハビリセンターと

ODA白書などで支援機器として評価される
日本政府のODA活動を広く紹介する「ODA白書2018年」に日本テレソフトの点字プリンターの導入事例が紹介され、途上国の教育環境の整備などに貢献する機器として高く評価されました。

白書は、セルビア共和国の導入された点字プリンターを例に、同国の盲人協会の本部、支部に設置されて、教材のほか小説など各種の情報多様、そして大量に製作することができ、視覚障害者の社会参加に貢献している、報告されています。また、外務省の海外向け広報誌やJICA広報誌でも点字システムの必要性と活躍が紹介されました。



↑清華ミニの使い方を学ぶベトナム・フエの盲人協会スタッフ。

←モンゴルに導入された点字プリンター。モンゴル語での点字印刷が可能、静かな印刷に評価が高い。

↓エルサルバドルでの点字プリンターの使用説明会。日本政府のノンプロ無償ODAにより、点字機材が供与された。



書籍や雑誌、各種資料

本を読み上げる

代読

などの文字を読み上げて、視覚障害者をサポートする「代読」機能付きの拡大読書器と、専用の読み上げ機が商品化されました。拡大読書器タイプは「ダビンチ OCRプロ」、専用機は「SMART Reader」です。

ダビンチ OCRプロはソニーの高機能カメラが付き、文字の拡大とともに、読み上げ機能も付いており、弱視の方の読書をサポートします。OCR専用カメラと分析機能の増したソフトウェアにより従来機器に比べ、日本語の格段の読み上げ精度を誇ります。使い方も読みたい本を開いて、カメラの下の指定の場所に置くだけで操作もボタンのみで簡単にできます。スキャナ方式に比べ、本を無理に広げることなく、スムーズな動作です。早送り、記録なども可能です。

SMARTは小型軽量で、自由に持ち運べます。また、別購入でモニターをつければ拡大読書器としても利用可能です。両機種との高い読み上げ精度があり教育利用のほか、日常生活の活用が可能です。

